

沖合黒潮調査 2019. No. 1

平成 31 年 4 月 26 日
和歌山県水産試験場

漁業調査船「きのくに」は 4 月 22 日に潮岬南沖 120 マイルの漁場調査を行った。
西日本は移動性高気圧に覆われる。調査時の海上は比較的風であった。
調査結果は以下のとおり。

		潮岬南沖
黒潮中心部		120 マイル
流速（流向）		3.1 k t （NE）
黒潮表面水温		24℃ 台
黒潮強流帯の北縁		100 マイル付近
沿岸漁場水温 表層		19～20℃
（2～5 マイル）	50m	17～19℃
	100m	16～18℃
	150m	16℃ 台

黒潮など（図 1）

関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬沖から大きく離岸、東経 137 度 0 分～20 分付近を蛇行の谷とし、東経 138 度を北上している。遠州灘から内側反流の 20℃前後の暖水が熊野灘南部沖に達している。潮岬沿岸域は 19℃ 台である。

沖合・沿岸の流況および水温（図 2）

今回の調査では潮岬南沖 120 マイルの水深 200m で 17.07℃ を観測した。水深 200m の黒潮の指標水温が 16.0℃ 以上であることと流況（流向 144°、流速 3.1kt を観測）から、黒潮中心部を 120 マイルと判断した。黒潮は潮岬沖で大きく離岸している。

ADCP による流況結果から、潮岬沿岸域から同正南 40 マイル付近までは西向南下流が卓越し、40～70 マイル間はほぼ南向流となり、これより以遠では東向流であった。西向流、南向流の流速はほぼ 1.0kt 未満であった。東向流は潮岬正南 100 マイル付近で流速 1.7kt、同 110 マイル付近で 2.8kt、同 120 マイル付近で 3.1kt 台であった。

表面水温は、潮岬沿岸 10 マイル付近までは 19℃ 台で、黒潮は潮岬で大きく離岸している影響から同 80 マイル付近まで 18℃ 後半から 20℃ となだらかな変化で、黒潮北縁の影響を大きく受ける同 90 マイル付近から 22℃ 前後となり、同 110 マイル付近は 24℃ 台であった。

潮岬正南 2～5 マイルの水深 150m では 16℃ 台であり、沿岸域の中層の低温化はみられない。

潮岬沿岸域から同正南 2 マイル東側、同 10 マイル近辺にケンケン漁船が、同 2 マイルから同 40 マイル間で流れ藻が見受けられた。

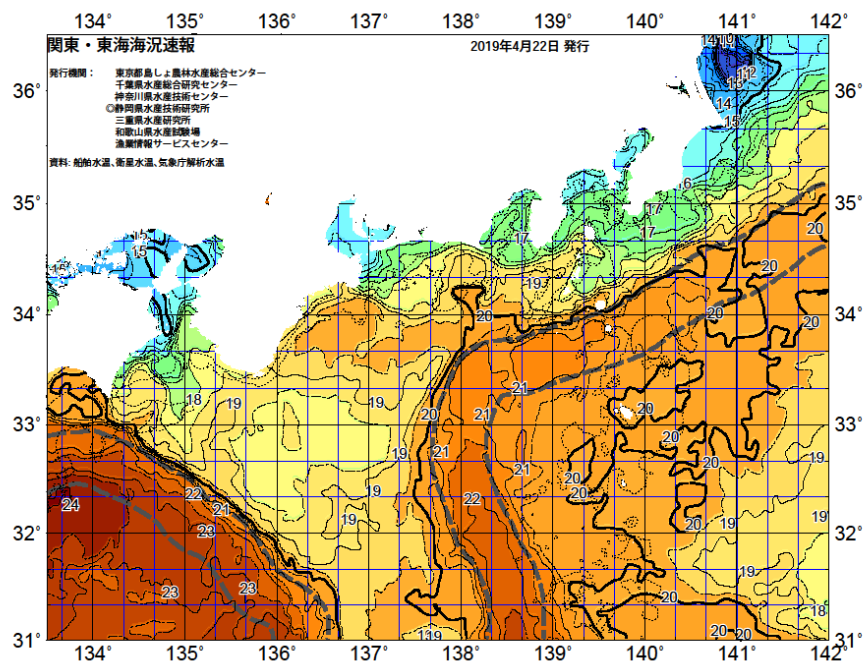


図1 調査時の海況図（関東・東海海況速報 2019年4月22日版）

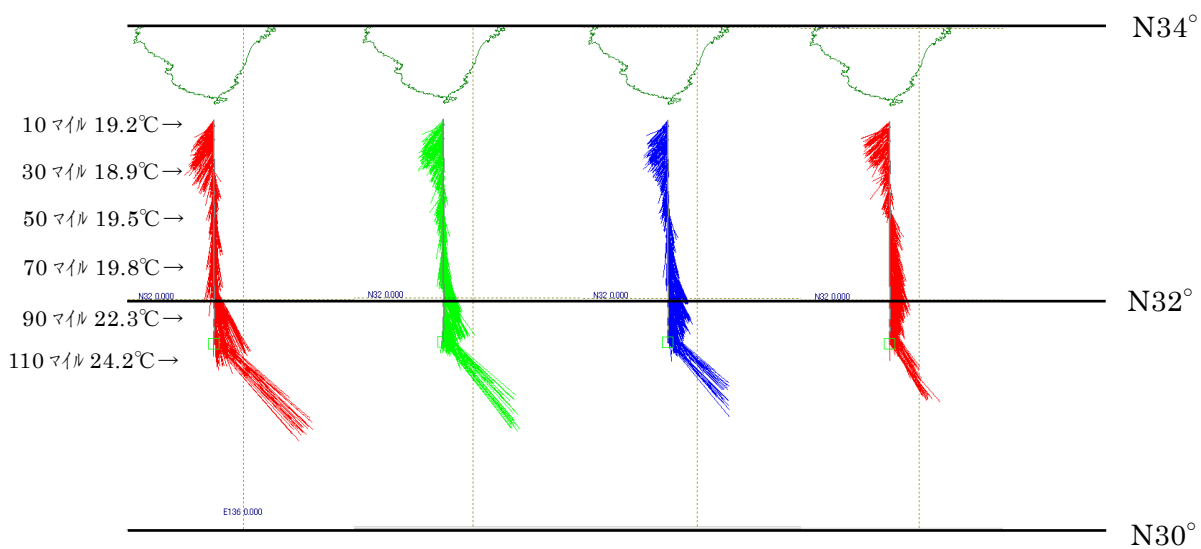


図2 潮岬沖合の海況（2019年4月22日観測）

図は左より往路表層（17m）、49m層、97m層、153m層の流況、図中の数字は表面水温を示す。